



教育経済常任委員会

委員長：熊谷兼樹 副委員長：安部誠也
委員：伊藤好晴 内藤眞一 高橋英次

条 例

公の施設の指定管理者の指定（9施設）

・公募によらない指定管理施設

飯南町堆肥センター、飯南町交流物産館、飯南町赤来農林産物直売所

・公募による指定管理施設

赤名観光体験農園、赤名観光ばたん園、道の駅「頓原」情報交流館、琴引スキースキー場及び琴引スキースキー場周辺施設、都市交流センター、憩いの郷衣掛

・指定管理者の公募の方法

公募による指定管理施設が6件ある。

公募の方法をホームページへの掲載だけにせず、広く町外へも広報することを求めた。あわせて、事前の周知期間を設けるよう提案した。

・指定管理者による施設点検

今回の予算案に多くの安全設備・装置の修繕が予算計上されている。

外部団体の点検による指摘で実施するものであるが、安全安心の確保は最優先事項として速やかに対応するよう求めた。

また、指定管理者による定期的な点検を施設管理マニュアルに記載するなどし、早期発見、早期対応に努めるよう求めた。

議案第24号 令和4年度 飯南町一般会計補正予算（第9号）

琴引スキースキー場外臨時管理費 2200万円

スキースキー場入込客見込みが3万2千人を下回ることが予測されるため、指定管理契約に基づき指定管理料を支払う。これは上限であり収支を精査して支払うとの説明があった。

暖冬による雪不足、新型コロナ蔓延による人流の停滞等により、集客状況は厳しさが継続すると思われるが、経営者の集客努力による経営改善を求めた。

同時に、本町にとって冬期間の貴重な就労の場であり、観光誘客が望めるレジャー施設でもあることを踏まえ、誘客策を経営者だけに任せず、町内外の関係機関・団体と連携して推進することを提案した。



琴引フォレストパークスキー場

議案第29号 令和5年度 飯南町一般会計予算

農業用廃棄物適正処理対策事業 36万円

農業用廃プラスチック処理に要する費用の一部をJAと協同して助成する。

農業用廃プラスチックの収集を春・秋二回に分けて行っているため、農家負担額に差が生じている。助成に不公平が生じないように求めた。

雲南農業振興協議会で検討したいとの回答があった。

誘致企業支援事業 384万円

専門系事務職場を誘致するための計画策定やマッチング活動を支援する。

女性向けの職場を想定しており、UIターン希望者へのPR材料にしたいとの説明があった。



UIターン相談会（大阪会場）

商業活性化重点支援事業 3159万円

町内商店の活性化のため、いーにゃんポイントを電子化する機材費と人件費の補助。

様々な支払い方法があるなかで、この電子化が事業者・消費者双方にメリットがなければ導入の効果は生まれない。あわせて、高齢者の負担感軽減努力を求めた。

商工会との協議のなかで、充分検討したいとの回答があった。

観光ばたん園経常管理費 945万円

観光ばたん園を維持管理するための指定管理料。

「町花」であるばたんを栽培し、それを観光化している施設であることを深く認識し、今後の管理の在り方や体制づくり等について専門家の意見を聞き改善するよう強く求めた。



コミュニティ・スクール推進事業 67万円

学校・家庭・地域が一体となり、より良い教育環境を整えるため、学校運営協議会を設置し運営するための人件費。

「飯南町教育環境基本方針検討委員会」が基本方針の策定中であること、これまで学校と地域を結んでいた団体や個人もあることを踏まえ、慎重な対応を求めた。

学校評議員会からの移行であり、これまで以上に広範な意見を聞き協力を求め、先進事例に学びながら慎重に進めるとの説明を受けた。



学校評議員による現地視察

全員協議会の報告

令和5年2月8日（水）

- ①ゼロカーボンシティ宣言
- ②島根県パートナーシップ宣誓制度
- ③来島牧場増頭事業
- ④林業振興を目的とした産官学連携協定
- ⑤琴引フォレストパークの運営状況
- ⑥ふるさとの森譲渡に向けたスケジュール

令和5年3月20日（月）

- ①新型コロナワクチン接種
- ②広島広域都市圏への参画検討
- ③災害時における物資供給に関する協定
- ④下赤名リースハウスの使用者変更
- ⑤教育環境基本方針検討委員会
- ⑥飯南病院経営強化プランの策定